



仙台市市民協働事業提案制度 令和6年度事業中間報告

次世代の防災意識を高める

—多様な視点で避難所の設計図をつくる—

特定非営利活動法人イコールネット仙台

【協働担当課】

仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室





【課 題】

震災以降、地域防災力の向上は必須のテーマであり、地域住民一人ひとりが災害から地域を守る役割を担う必要がある。当団体が実施した「震災と女性」調査では、防災における女性のリーダーシップの必要性が明らかとなり、仙台防災枠組においても女性と若者のリーダーシップの重要性が強調されている。特に、今後は次世代の防災意識を高め、地域の防災の担い手として育てていく必要がある。



【事業の目的】

地域を主な生活圏としている小中学生が、防災の担い手として、災害から地域を守る役割を果たすことができるように、学校の防災教育の一環として、当団体が行ってきた「多様な視点で避難所の設計図をつくるワークショップ」を実施する。この際には、協働担当課の協力を得て、震災当時の地域の状況や避難所の様子を、災害記録共有アーカイブSORAを活用して情報収集する。



【事業の具体的な内容】

本ワークショップは、各10名程度のグループ単位で実施する。

- ①前段で、災害記録共有アーカイブSORAを通して、震災当時の地域の状況や避難所について情報収集する。
- ②避難所に避難した場合の心配や不安について、自分事として考え、必要となる「場所」「人」「もの」等について考える。
- ③地域に暮らす住民の中で、災害時に困難を抱えると思われる「車いすの方」「お年寄り」「赤ちゃんを抱えた母親」「外国人」等の立場に立って、避難所で必要と思われる「もの」「場所」「人」について書き出し、それらを反映させながら、学校の体育館を想定して避難所の設計図を作成する。
- ④完成した設計図に名前をつけて発表し合う。



【事業の対象校】 <事業が終了した学校>

1. 荒町小学校 6年生 88名

日時:2024年6月14日(金) 9:30～11:20(休み時間を含む)

協力団体:地域夢つなぐ実行委員会Wakka(わっか) 他

※8月4日(日)、荒町市民センターとイコールネット仙台との共催
で地域住民対象に本事業の報告会を開催予定。

2. 岩切中学校 2年生 187名

日時:2024年6月21日(金) 13:20～15:00(休み時間を含む)

7月 4日(木) 13:20～15:00(休み時間を含む)

協力団体:いわきり防災エンパワメント

せんだい女性防災リーダーネットワーク宮城野 他

多様な視点で避難所の設計図をつくるワークショップ

＜荒町小学校 6年生 88名 8グループで実施＞



災害時に困難を抱える人たちが、避難所で安心して過ごすために必要な「もの」「場所」「人」は・・・



荒町ラクラク生活所



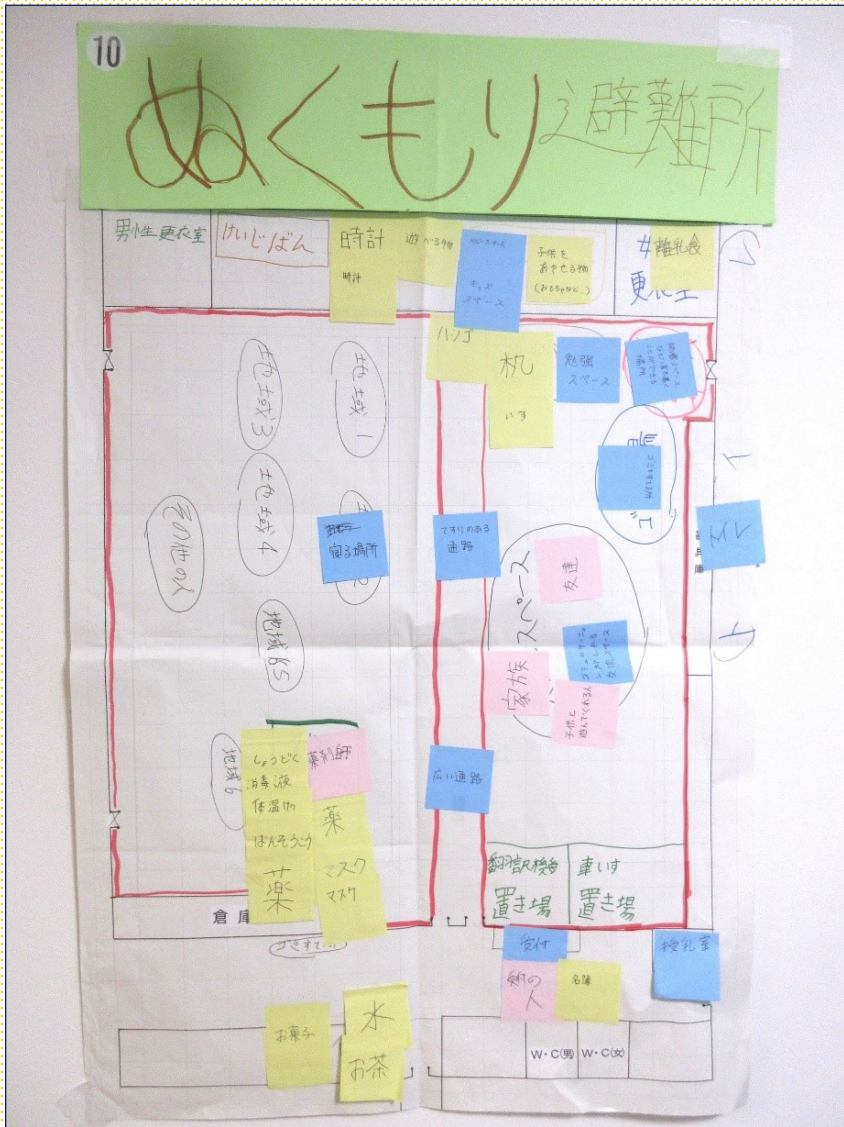
誰でも安心！！～思いやりのひなんじょ



＜岩切中学校 2年生 187名 18グループで実施＞



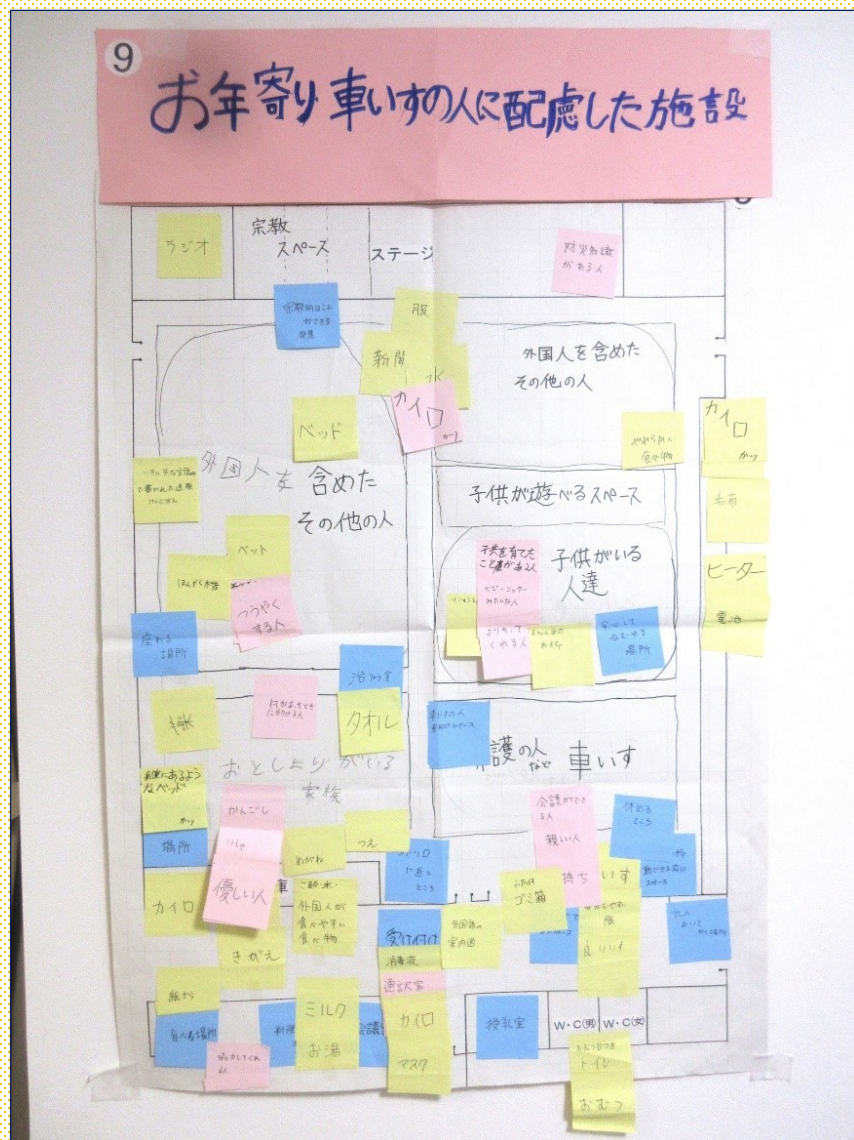
ぬくもり



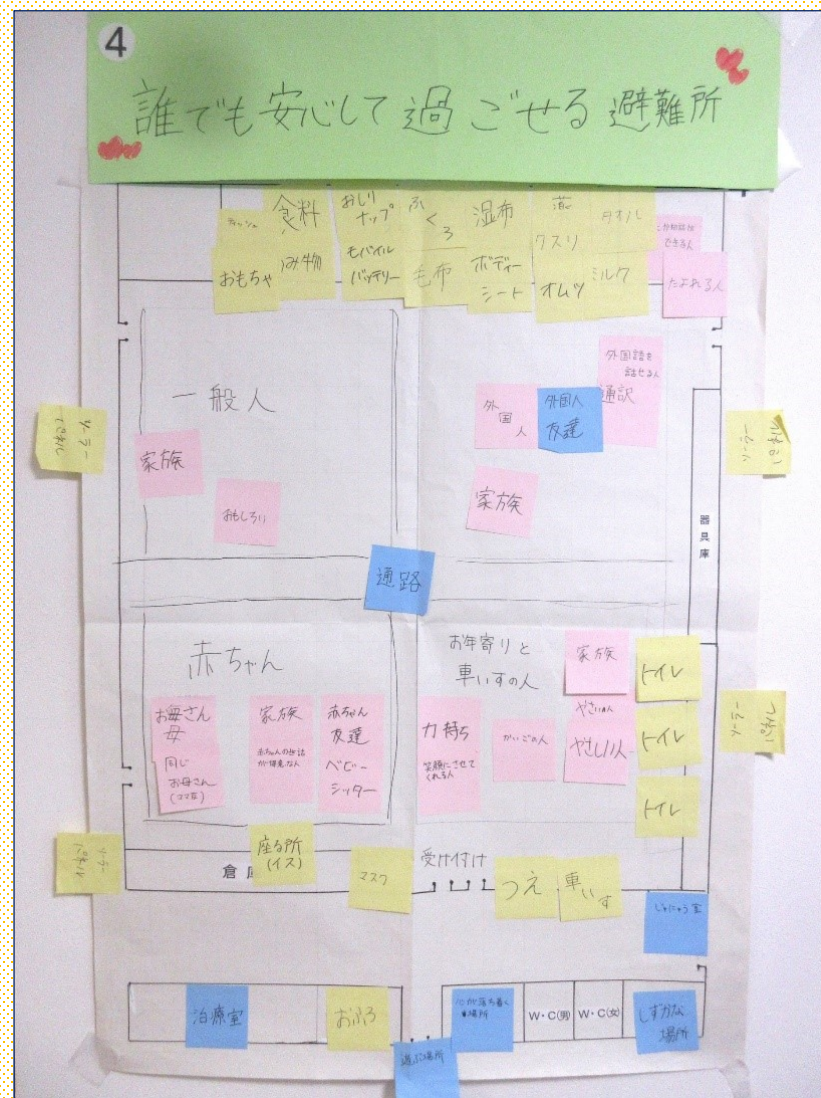
ALL SMILE



お年寄りや車いすの人に配慮した施設



誰でも安心して過ごせる避難所





【附帯意見への対応】

＜事業の実施先の拡充について＞

地域団体の協力を得て、複数校に事業実施を提案した結果、新たに北仙台小学校に協力いただけることになった。

【今後の実施校】

- 3. 北仙台小学校 5年生 100名
日時:2024年10月19日(土)
- 4. 北仙台中学校 1年生 90名
日時:2025年3月

＜協力団体:北仙台女性防災ネット＞